

バイスタンダーサポートカードについて

1. 背景

バイスタンダー（救急現場に偶然居合わせた人）による心肺蘇生や止血等の応急手当は人命救助において重要な役割を果たします。しかし、応急手当後に「適切な対応だったのか」「もっとできることがあったのではないか」といった不安や自責の念を抱き、精神的・身体的な不調を感じることが報告されています。

2. 主な支援内容

（１）バイスタンダーサポートカードの配布について

救急隊が救急現場に到着するまでの間、応急手当を実施していただいた方の勇気ある行動に感謝の意をお伝えするとともに、応急手当に関する不安や心身の不調を感じた際の相談窓口を記したカードを渡し、安心して応急手当が行えるようにサポート体制の充実を図ります。

【配布対象者】（傷病者の家族は除く。）

- ・救急現場において、心肺蘇生法（AEDの使用を含む）を実施した方
- ・救急現場において、出血等に対する応急手当を実施した方
- ・現場責任者（隊長）が配布の必要があると認めた方

【配布方法】

救急現場において、救急隊や消防隊等がバイスタンダーの方にお渡しします。（救急隊等は現場活動を最優先しますので、状況により配布できない場合があります。）

【カードの例】



あなたの勇気で応急手当を行っていただきありがとうございました。
応急手当をした後、この行動でよかったのかとの悩み、眠りにくい、涙が出るなどを感じられた際は、下記までお気軽にお電話ください。

【相談窓口】 湖北地域消防本部救急課

電話番号 0749-62-6194

受付対応時間 平日 8:30~17:15



（２）相談窓口の設置について

- ① 相談窓口（連絡先）は、湖北地域消防本部救急課（電話番号 0749-62-6194）とします。
- ② 受付対応時間は、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分までとします。
- ③ 実施した応急手当に関する不安は消防本部で対応し、心身の不調等については長浜保健所と協力しサポートします。

【相談内容の例】

- ・ 応急手当を行った後に、自分の処置や判断が正しかったのか不安に感じる。
- ・ 現場の出来事が何度も思い出される。
- ・ 応急手当を実施したことで、気持ちが不安定になる。
- ・ 不眠、動悸、涙が出る。